

MELON

“省エネ博士”が誕生しました！

2003年夏に二度にわたって夏休みの自由研究応援企画「省エネ博士になるぞ」を開催しました（内容報告は55号を参照）。この講座に参加した仙台市立鶴巻小学校6年生高野涼君が、家庭で実際に省エネに取り組んだ模様と取り組みについてまとめた作品が下記のとおり各所で評価を受け、数々の賞を受賞しました。

作品は32ページにもわたる大作で、制作期間は調査期間も含め約1ヶ月かかったそうです。ユーモアを交えたマンガで描かれており、主人公のガンとガン太が省エネの必要性について学びあう内容になっています。「省エネしないと大変だけど、省エネするのは簡単なんだよ。」とガンが語っている場面が印象的でした。

第50回仙台市児童・生徒理科作品展
小学校第一部【観察や実験などの記録】の部
「部会長賞」ならびに「環境奨励賞」受賞
自然エネルギーフォーラム
「自然エネルギーフォーラム賞」受賞



この本を書いてみて、省エネのことがよくわかりました。省エネがなぜ大切か、しないとなぜ大変なのかは書く前から知っていたので、簡単に終わると思っていました。



でも実際に書いてみるととても大変でした。特に大変だったのは文字が多いところでした。だけど終わると、とてもほっとしました。



勉強会に参加してよかったと家族一同、大変うれしく感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



ストップ温暖化センターみやぎ「通信」⑰



11/29 気仙沼市、12/13 中田町で地域の会員中心の実行委員会形式で、地球温暖化問題・冬の省エネについての環境市民講座（講師：門田陽子さん）を開催しました。



気仙沼市での参加者の様子

中田町市民講座
実行委員の皆さん



宮城県が作成中の温暖化対策に関する計画案に対して、意見書を作成しました。また、小中学校への太陽光発電の導入など具体的な対策案についても検討するよう提案し、1月26日に木村理事長、長谷川

公一センター長の連名にて提出しました。



12/6 1/17-18 1/24 1/31 2/7

地球温暖化防止活動推進員の研修では、家庭で行なう温暖化診断（どこで温室効果ガスの原因となるエネルギーを使っているかのチェック）について学びました。

今後、環境家計簿に取り組んでいただいている皆さんの省エネを更にサポートしていけるようにしたいと考えております。



電気使用量測定機器の
使い方を学ぶ研修受講者



事務局で、県内自治体の温暖化対策に関する取り組みの実施状況について調査を行ないました。「市町村合併を控えているため」計画などが策定されて

いない自治体もありました。